

2020年12月期（第48期）  
決算補足説明資料

1. 2020年12月期決算概要
2. 2021年12月期見通し
3. クリーンエアーシステム市場環境
4. 中長期の経営方針と今後の戦略

2021年2月12日  
日本エアーテック株式会社

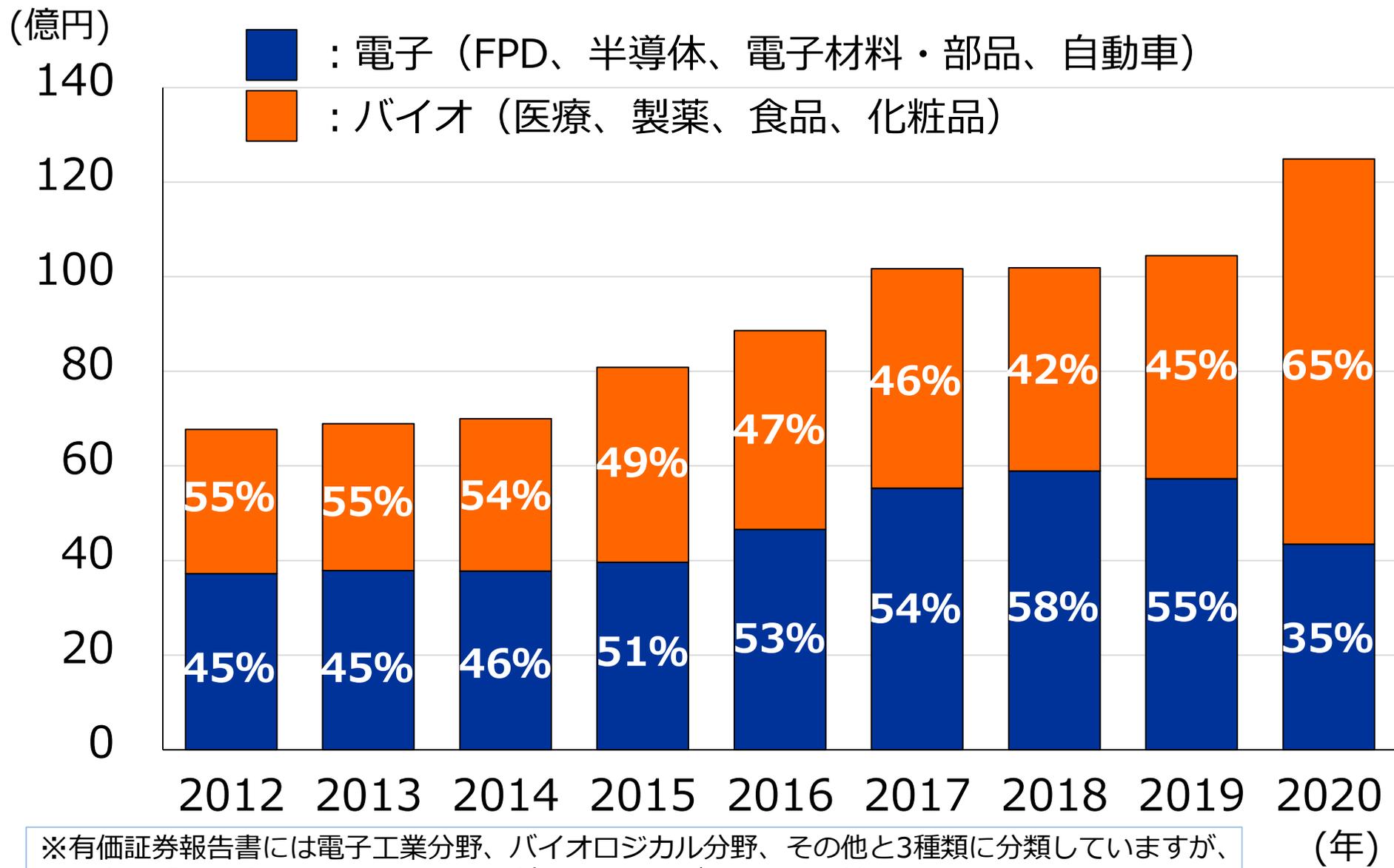
# 1.1 会社業績状況

※売上高及び利益は、感染症対策関連の製品販売増加により、増収増益となり、売上、各種利益共に過去最高を更新しました。

※2020年度の配当は、一株につき普通配当25円に記念配当8円を加えて33円を予定しています。(2021年2月10日 追加増配開示)

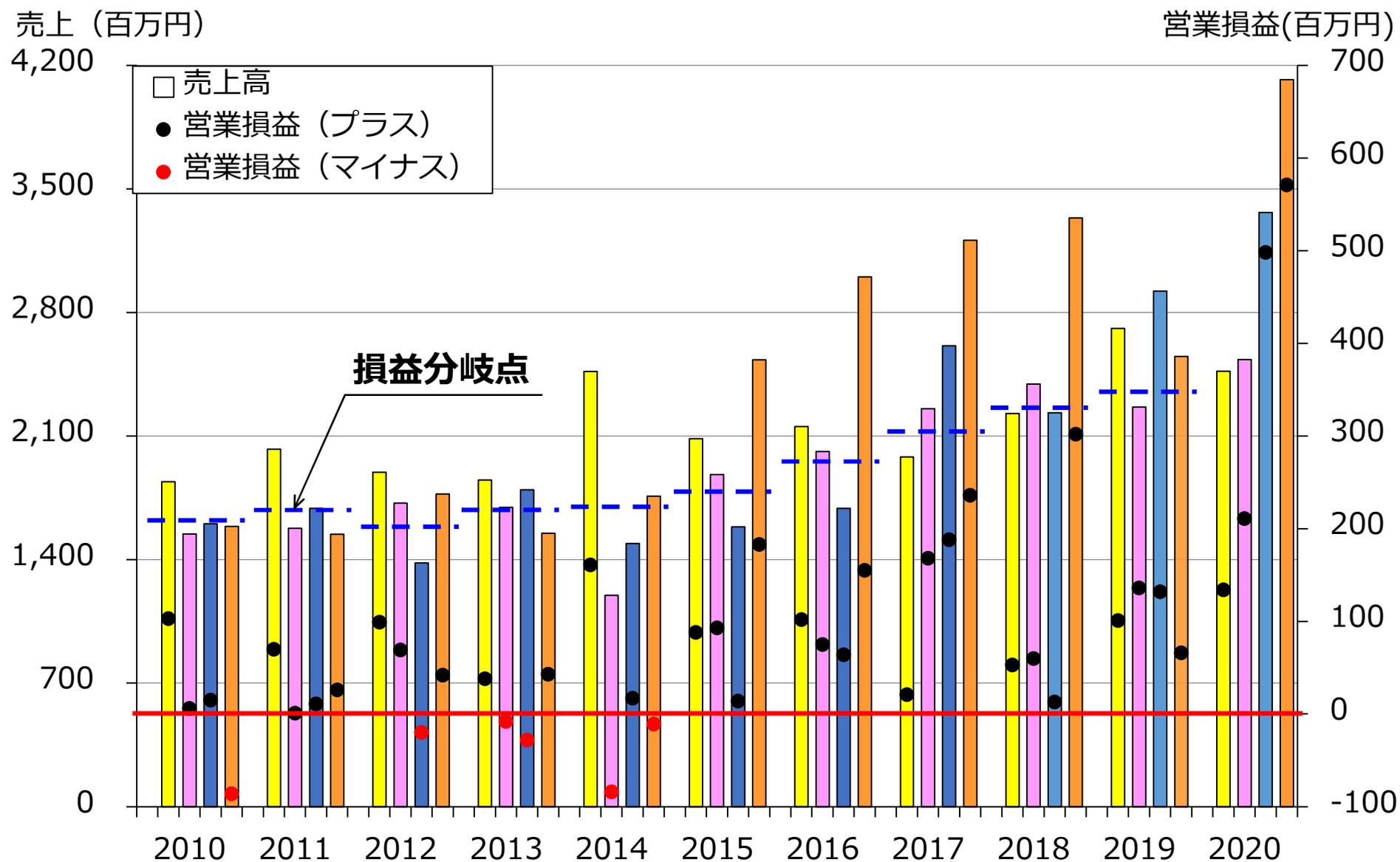
	2019年12月期		2020年12月期	
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比
売上高	10,442	—	12,487	—
営業利益	435	4.2%	1,414	11.3%
経常利益	585	5.6%	1,562	12.5%
当期純利益	405	3.9%	1,136	9.1%
配当	22円	(実績)	33円	(予定)
受注金額	9,814	—	14,860	—
受注残	2,465	—	5,100	—

## 1.2 売上高推移と電子・バイオ分野の販売比率

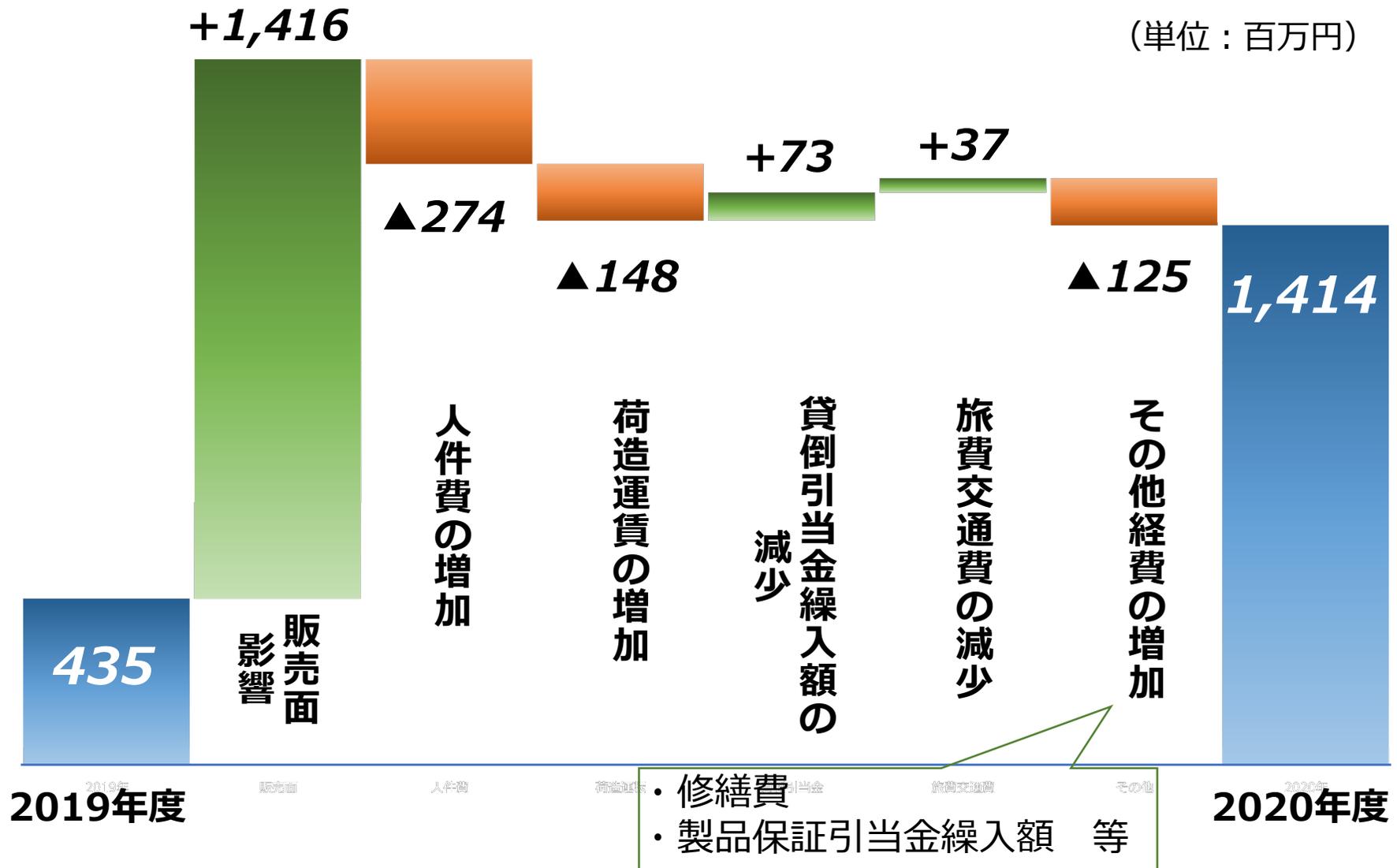


※有価証券報告書には電子工業分野、バイオロジカル分野、その他と3種類に分類していますが、便宜上「その他」分野の売上を等分割し、電子、バイオ分野に按分しています。

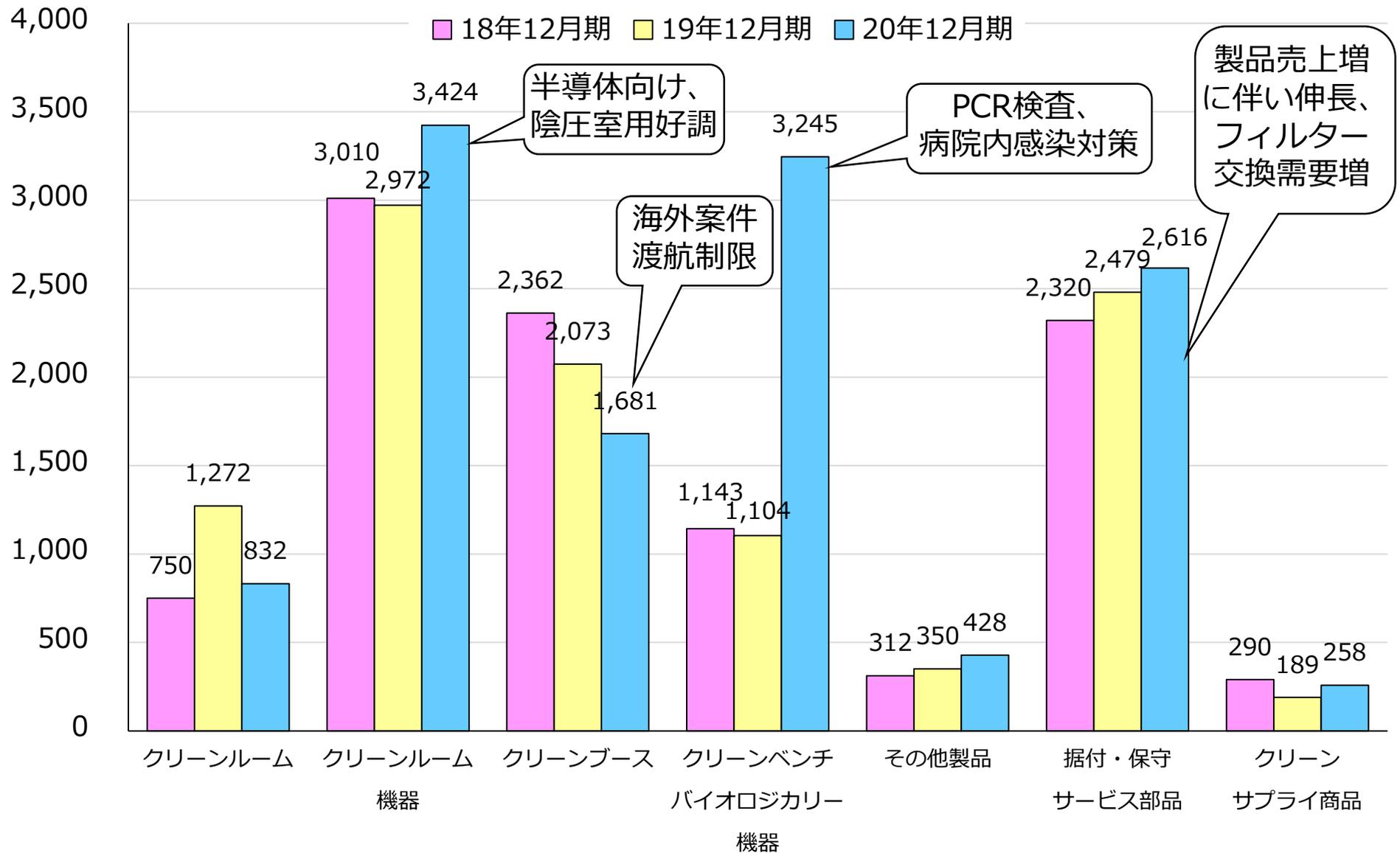
# 1.3 四半期毎の売上、営業利益の推移



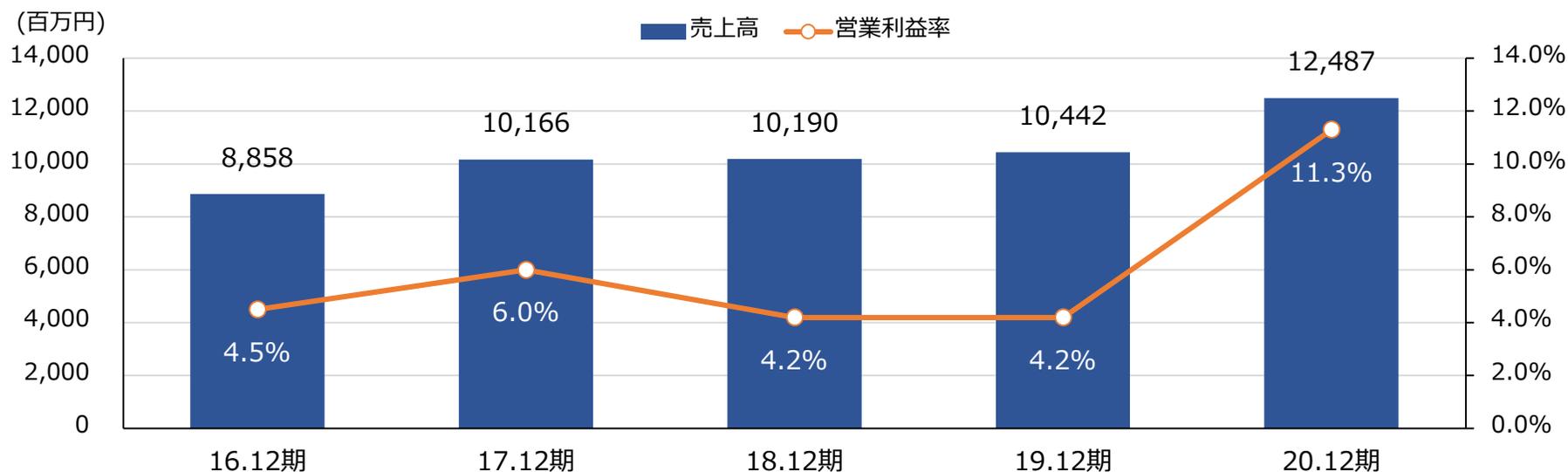
# 1.4 2020年度 営業利益増減要因分析



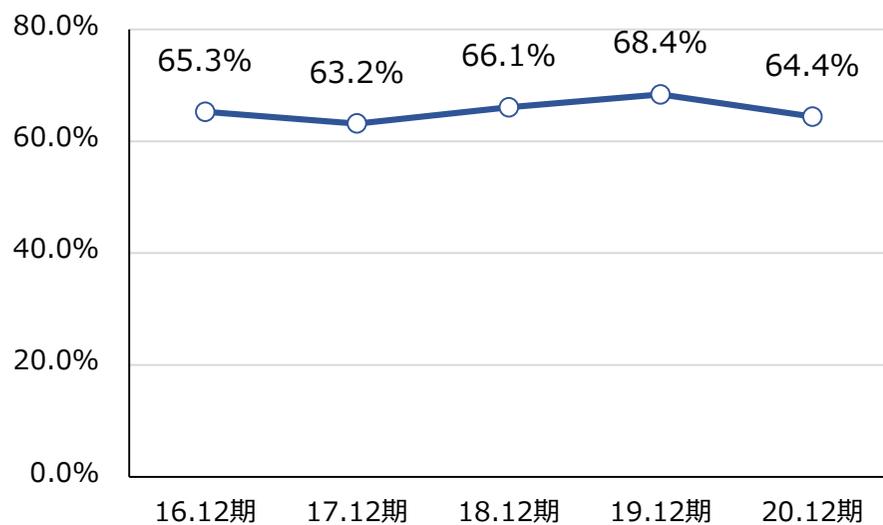
# 1.5 品目別売上高



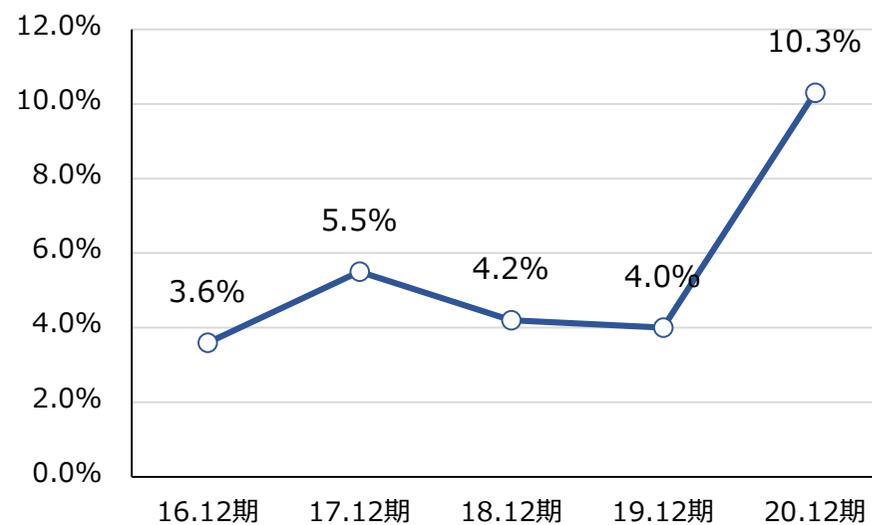
# 1.6 売上高・営業利益率推移



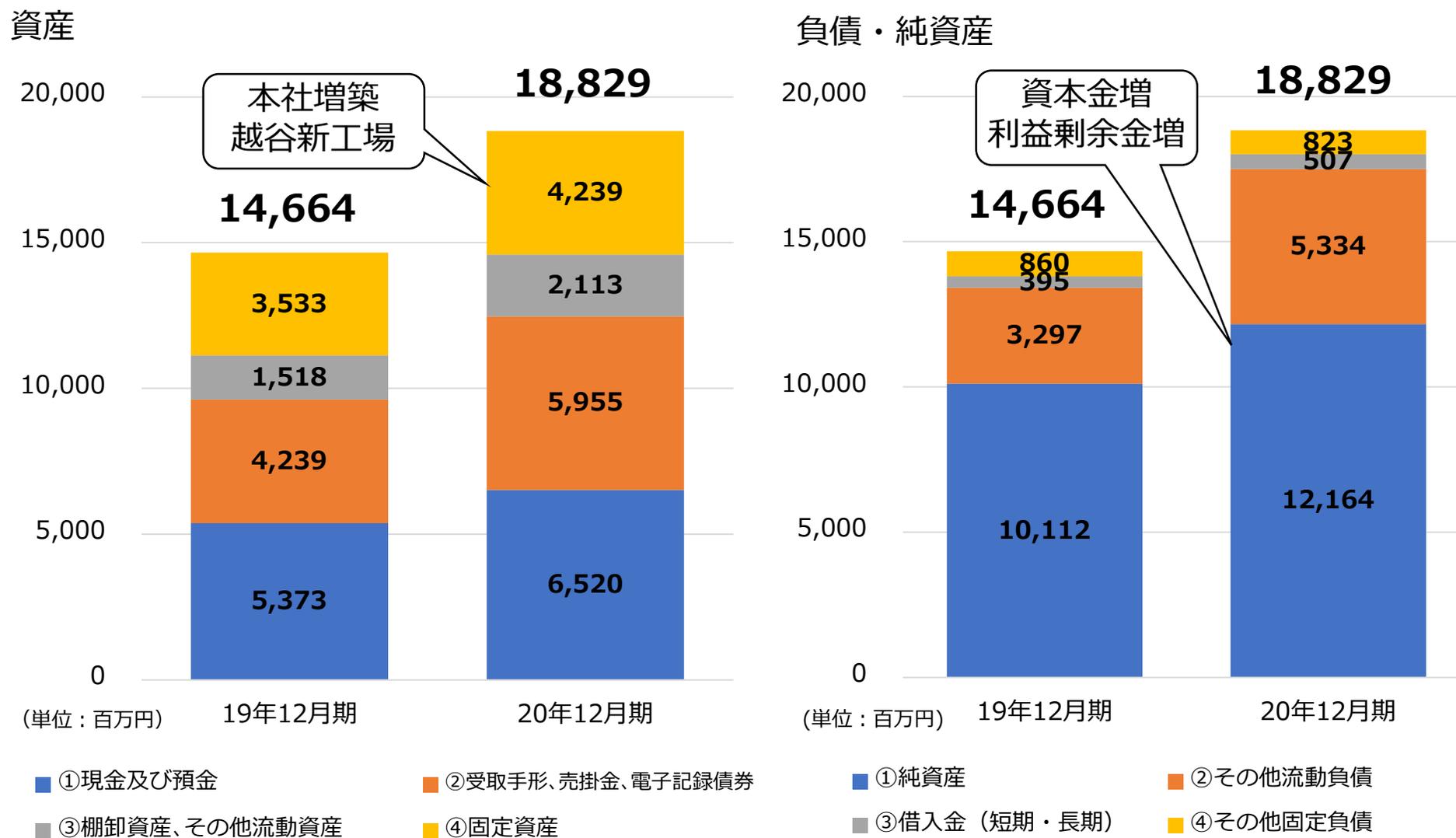
## 自己資本比率



## ROE



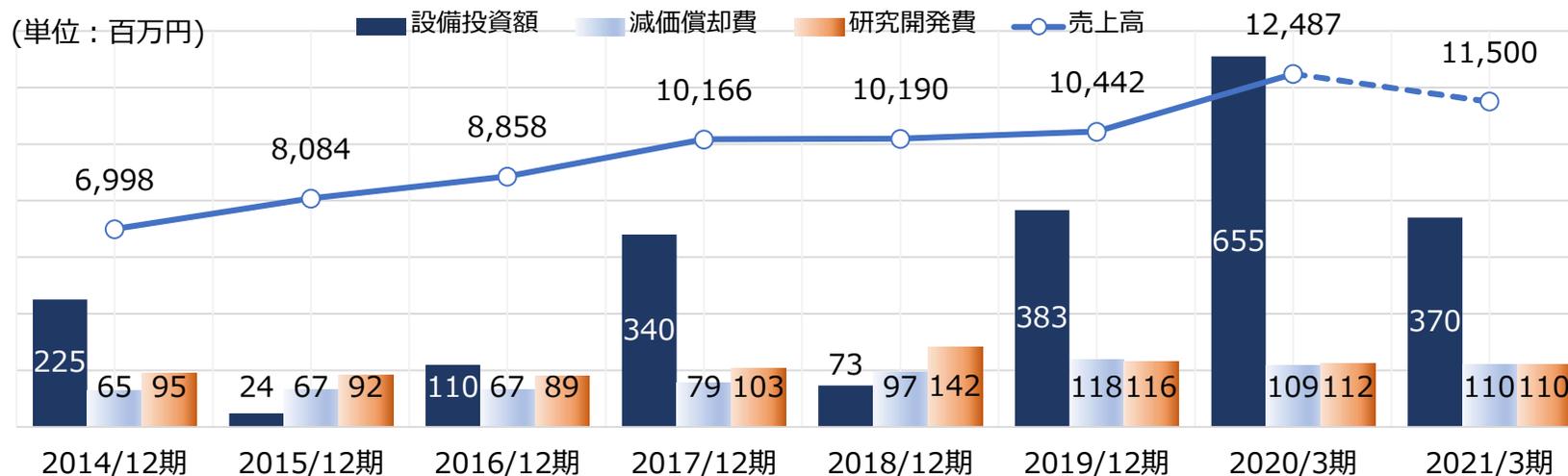
# 1.7 貸借対照表の推移



## 1.8 設備投資、減価償却費及び研究開発費年度別推移

	2014年 12月期	2015年 12月期	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期
(単位:百万円)	実績	見通し						
売上高	6,998	8,084	8,858	10,166	10,190	10,442	12,487	11,500
設備投資額	225	24	110	340	73	383	655	370
構成比(%)	3.2%	0.3%	1.2%	3.3%	0.7%	3.7%	5.2%	3.2%
減価償却費	65	67	67	79	97	118	109	110
構成比(%)	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	1.0%	1.1%	0.9%	1.0%
研究開発費	95	92	89	103	142	116	112	110
構成比(%)	1.4%	1.1%	1.0%	1.0%	1.4%	1.1%	0.9%	1.0%

### 売上高及び設備投資・減価償却費の年度推移



# 1.9 通期キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

	19/12月期 通期	20/12月期 通期	キャッシュ・フローの状況
営業活動によるCF	773	914	売掛債券増 当期純利益増、仕入債務増
投資活動によるCF	△402	△761	本社増築、越谷新工場建築 基幹システムへの投資 中国関連会社へ増資
財務活動によるCF	△231	1,004	第9回新株予約権による増資 長期借入金
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△3	△10	
現金及び現金同等物 の増減額	136	1,146	
現金及び現金同等物 の期末残高	4,748	5,894	
借入金・社債期末 残高	495	607	

2020年12月期（第48期）  
決算補足説明資料

2. 2021年12月期見通し

## 2.1 2021年12月期 通期業績予想の前提条件 (クリーンエアーシステム関連)

<ul style="list-style-type: none"><li>● 新型コロナウイルス感染症による業績への影響</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 日本経済全体の投資マインド低下により、国内全体の投資減の影響を受ける可能性があります。</li><li>• 緊急事態宣言中は投資延期、一部据付作業停滞が予想されます。</li><li>• 感染対策需要は3月迄昨年同様あり、4月以降は減少するも一定水準で継続すると保守的に予想しています。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 主要顧客状況</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 半導体関連企業は20年より増産中。</li><li>• 製薬・食品・電子部品・材料業界は20年と同等。</li><li>• 自動車（EV関連）、半導体、カーボンゼロ目標関連等への投資が増加すると予想しています。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● リスクの想定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 従業員の感染リスク防止 (在宅勤務、時差・時短通勤、車通勤、Web会議、社内外の環境整備、消毒処理等々)</li><li>• 海外部品の安定調達（代替部品選定）</li></ul>

## 2.2 2021年クリーンエアーシステム市場動向

- 1) 世界的には半導体への大型投資は継続される。関連する製造装置会社、部品・素材会社は好調が見込まれます。
- 2) バイオロジカル分野（製薬、再生医療、医療、食品）は堅調に推移する。特に食品はHACCP義務化、再生医療は市場拡大により本年以上の設備投資が見込まれます。
- 3) コロナウイルス、自国第一主義による貿易戦争、紛争等による景気悪化は継続するが、2020年が底と想定しています。
- 4) 医療施設向けの感染症関連製品は、2020年をピークに減少すると予想しています。感染症対策に関し世の中の意識が変化し、今後は福祉施設、オリンピック関連施設、災害避難所、オフィス、学校等の新市場の成長を期待しています。

## 2.3 2021年12月期の業績及び配当予想

- ・新型コロナウイルスの感染防止機器特需がピークを越し減少するが、電子関連が回復することを踏まえ予想しています。

	19年12月期 (実績)		20年12月期 (実績)		21年12月期 (予想)	
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比
売上高	10,442	—	12,487	—	11,500	—
営業利益	435	4.2%	1,414	11.3%	800	7.0%
経常利益	585	5.6%	1,562	12.5%	970	8.4%
当期純利益	405	3.9%	1,136	9.1%	689	6.0%
EPS ※	45.33円		114.29円		69.29円	

※ EPS : Earing Per Share 一株当たり当期純利益

### 配当について

21年12月期予想	期末配当：25円	
(参考)20年12月期	期末配当：33円(予定)	普通配当25円に越谷新工場、本社増築記念配当8円

## 2.4 2021年度 目標

- 1) 東証市場再編への対応として、現段階では東証一部からプライム市場への上場維持基準の達成を目指します。
- 2) 研究開発は、特徴付け、SDGs関連（感染症、省エネルギー、食品分野関連で22テーマ）に注力します。
- 3) 越谷新工場の立ち上げ、本社展示室の有効活用（代理店説明会、勉強会）を開始します。
- 4) 高性能フィルターの増産、拡販に本格的に取り組めます。
- 5) エアーシャワー、クリーンブースのシェアを拡大します。
- 6) 感染症関連の特需、及び特需終了後の売上拡大に対応します。
- 7) コロナ禍における営業活動・海外対応の新取組を検討します。

## 決算補足説明資料

### 3. 中長期クリーンエアーシステム 市場環境

1) 電子工業分野

半導体関連

フラットディスプレイ関連（液晶、有機EL）

スマートフォン

自動車関連産

電子部品・材料関連

宇宙・航空産業

2) バイオロジカル関連

製薬工業

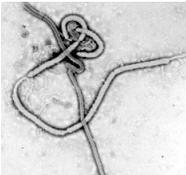
医療関連

食品関連

化粧品工業

バイオロジカル研究

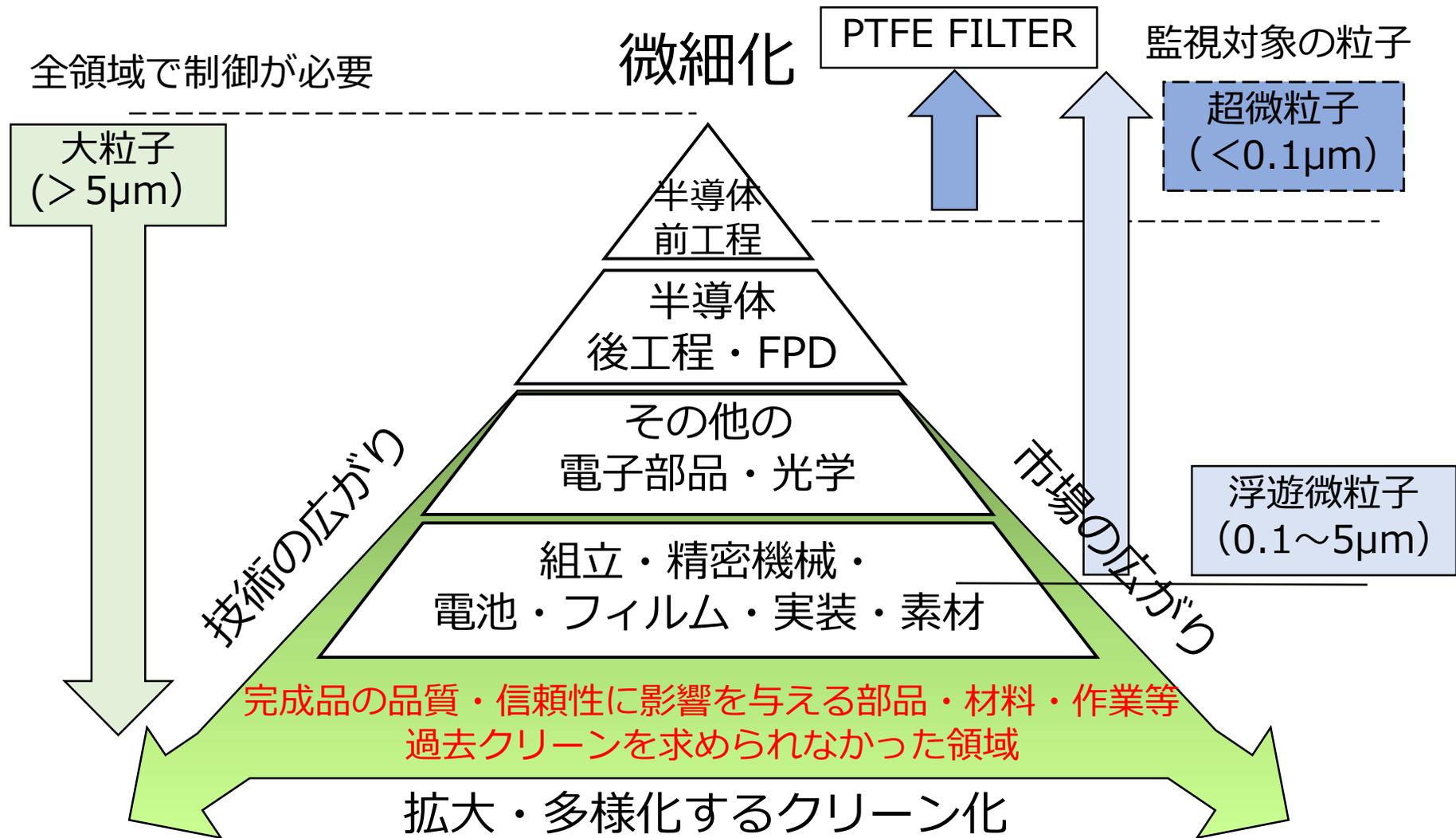
# 3.1 クリーンエアーシステム市場の展望

電子分野 技術進歩と共に裾野広がる		バイオ分野 人の生命より重いもの無し	
	自動運転実用化、低燃費化（電気・燃料自動車等）への移行 クリーン技術の裾野が急速に広がっている		日本PICS加入による新規・改修の需要 ジェネリック医薬品（医療費削減の為） 化学合成薬品→バイオ医薬品 ワクチン開発、製造
	スマートフォン成長継続 5Gへ 本関連顧客は底堅い 関連の部品・部材メーカーも良い		医療関連は、少子高齢化に伴い成長 特に再生医療関係が急成長中 院内感染防止
	•半導体メーカー集約され限定的だが投資が巨額。 装置メーカー、関連企業は好調 5G通信、サーバー関係好調 •自動車・カメラ用は今後急成長		食品への異物混入防止(FSSC22000) 食品衛生法改正(2020年6月より施行) 食の安全への取組により裾野が拡大中
	•中国市場は液晶は2021年で終了、 今後は有機EL投資へ •4K、8K		•21世紀は感染症との戦い •再生医療施設の急増、研究(iPS、ES) の実用化に向けた研究投資は続く
	ICカード、フィルム、電池関連 材料、部品メーカーに動き有り ＜日本企業強み＞		品質改良技術加速 無菌
	宇宙・航空機産業は国産化が進むと 裾野が大きく広がる	<b>その他</b>	PM2.5、ナノ粒子

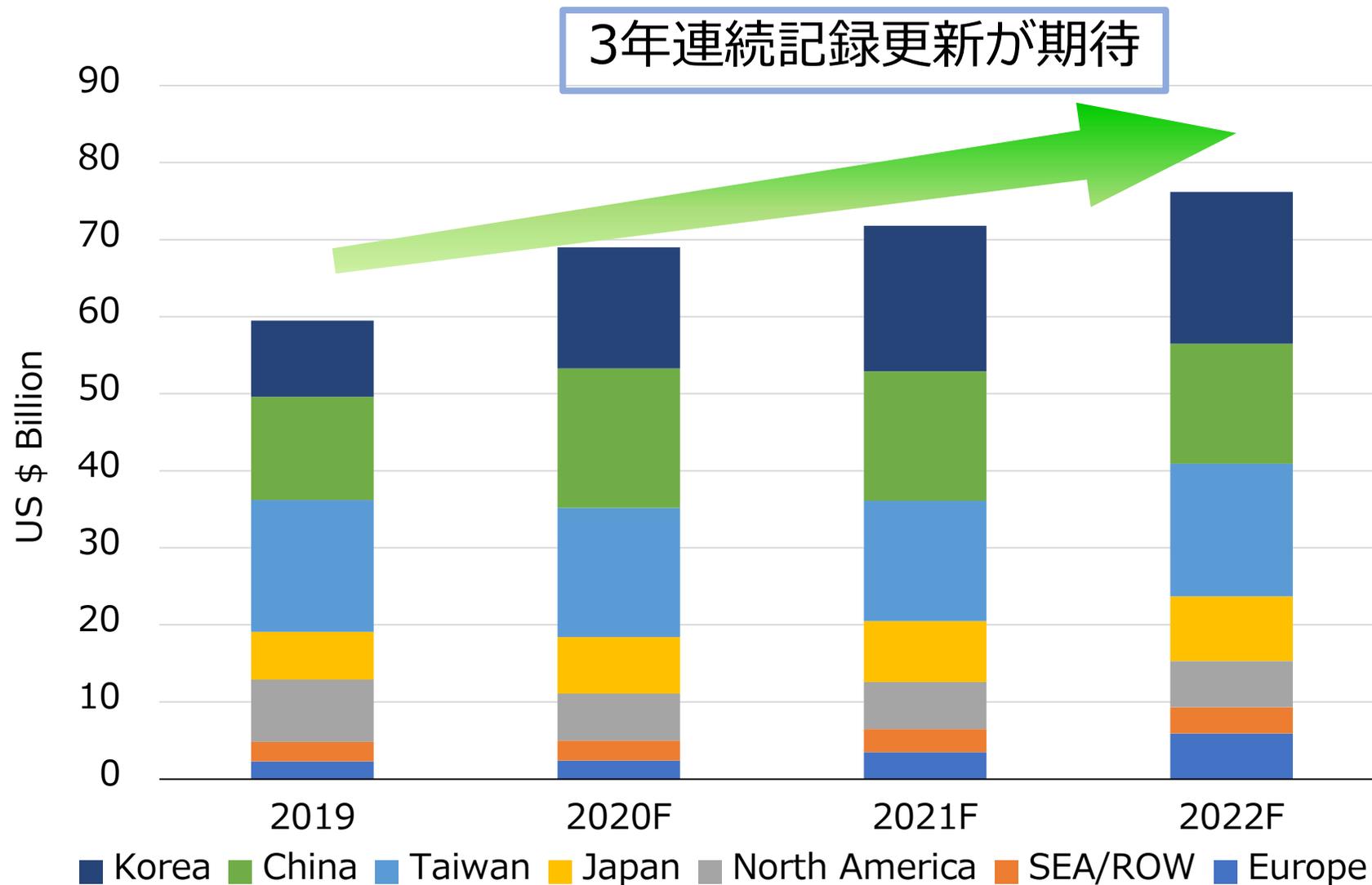
写真はトヨタ自動車(株)HP、シャープ(株)HP、京セラ(株)HP、JAXA HP、東洋水産、ウィキペディア

## 3.2 拡大・多様化するクリーン化

### 半導体、車、食品、医薬品産業



### 3.3 半導体製造装置市場の動向



出所：SEMI、2020年12月公開資料を基に当社にて作成

### 3.3.1 半導体の一事例 東京エレクトロン九州(株)殿

コータ/デベロッパ (最新装置LITHIUS Pro™ Z) へFFU搭載

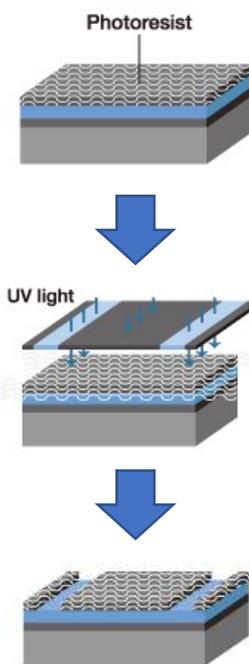
東京エレクトロン殿は当該装置の世界市場シェア約90%

#### ● 搭載された理由

1. 他社では出来ないファン技術が当社にあった。
2. 高静圧、**低消費電力**
3. そのファンの安全・**信頼性** (過去の実績)
4. 本装置を通じて世界中の半導体工場に納品



**CLEAN TRACK™  
LITHIUS Pro™ Z**



#### Coating of photo-resist

コータでウェーハを高速回転させながら、感光剤（フォトレジスト）をウェーハ全面に均一に塗布。

#### Exposure (other device)

別の露光装置にてパターン転写

#### Developing of circuit

デベロッパで現像液を均一に塗布し、転写された回路パターンを作る。

## 3.4 食品業界

- (1) 食品のウイルスや細菌による食中毒事故
- (2) 食品への意図的を含む異物混入、表示偽装事件  
(中国冷凍餃子事件、カップ焼きそばへの虫混入)

食の安全が脅かされています。

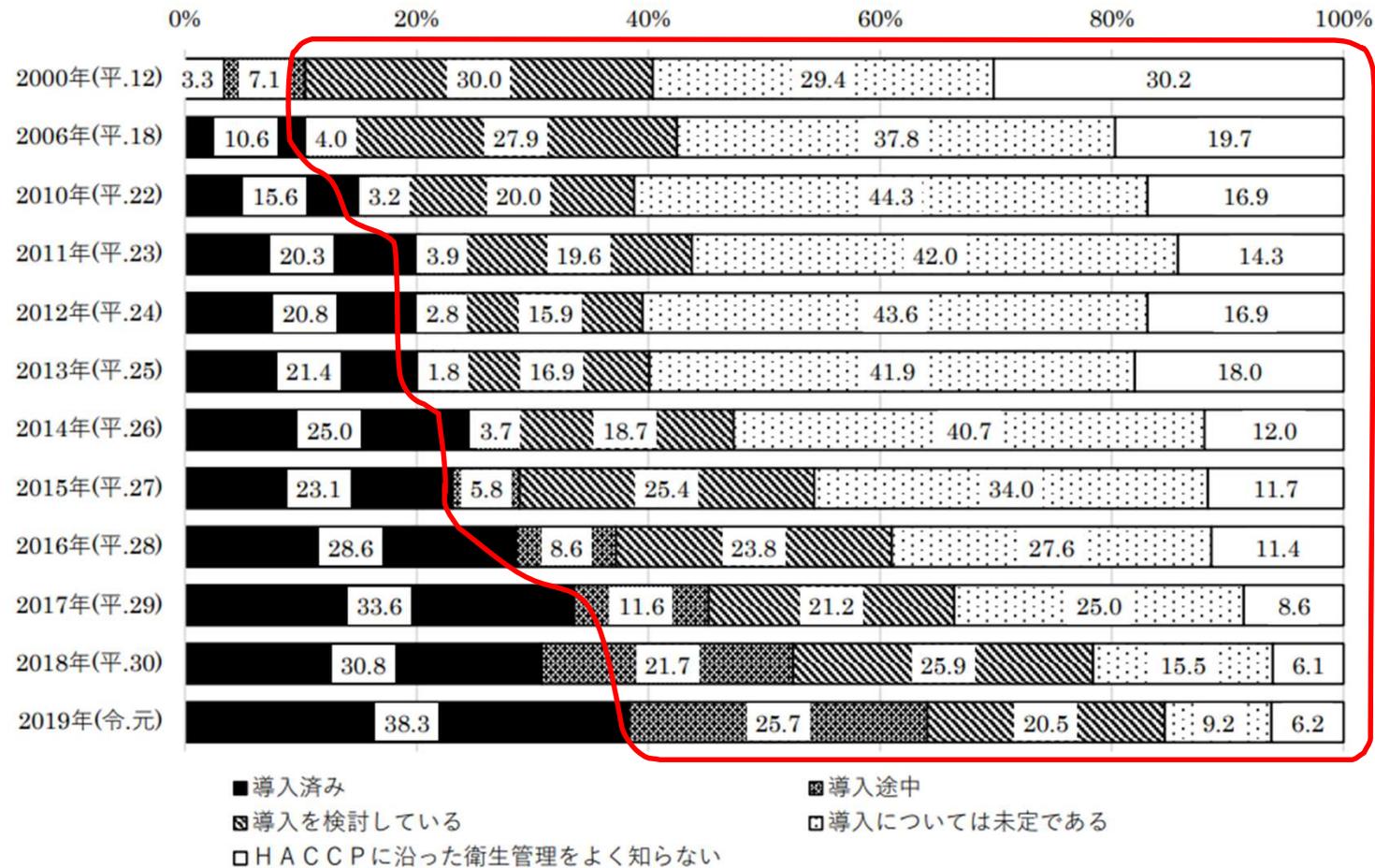


- ※ 1つの事故により全数回収、廃棄されるため、  
企業においても大きな損害となります。

**2018年6月に改正食品衛生法案が可決され、HACCPの制度化**  
**2020年6月にはHACCPの義務化**

# 3.4.1 食品業界 HACCPの導入状況の推移

約60%が導入完了しておらず、約47%が導入途中、検討中されています。



出所：農林水産省 令和元年度 食品製造業におけるHACCPに沿った衛生管理の導入実態調査結果（令和2年6月26日公表）

2020年12月期（第48期）  
決算補足説明資料

## 4. 中長期の経営方針と今後の戦略

## 4.1 中長期の経営方針と取組

会社の目的・使命

- 1) 当社に関わる全ての人々の幸せを追求し実現する。
- 2) 上場企業として継続的に成長し、社業を通して持続可能な社会に貢献する。

中長期 経営方針

- 1) 標準・準標準製品の売上比率向上
- 2) 差別化（ハード、ソフト、創造）による脱価格競争 → ブランド価値向上
- 3) グローバル化
- 4) 新市場への進出／新市場の創造

## 4.1.1 会社の目的・使命

### 社是

世界に通用するクリーンエアーシステム技術を確立し、社会に貢献する。

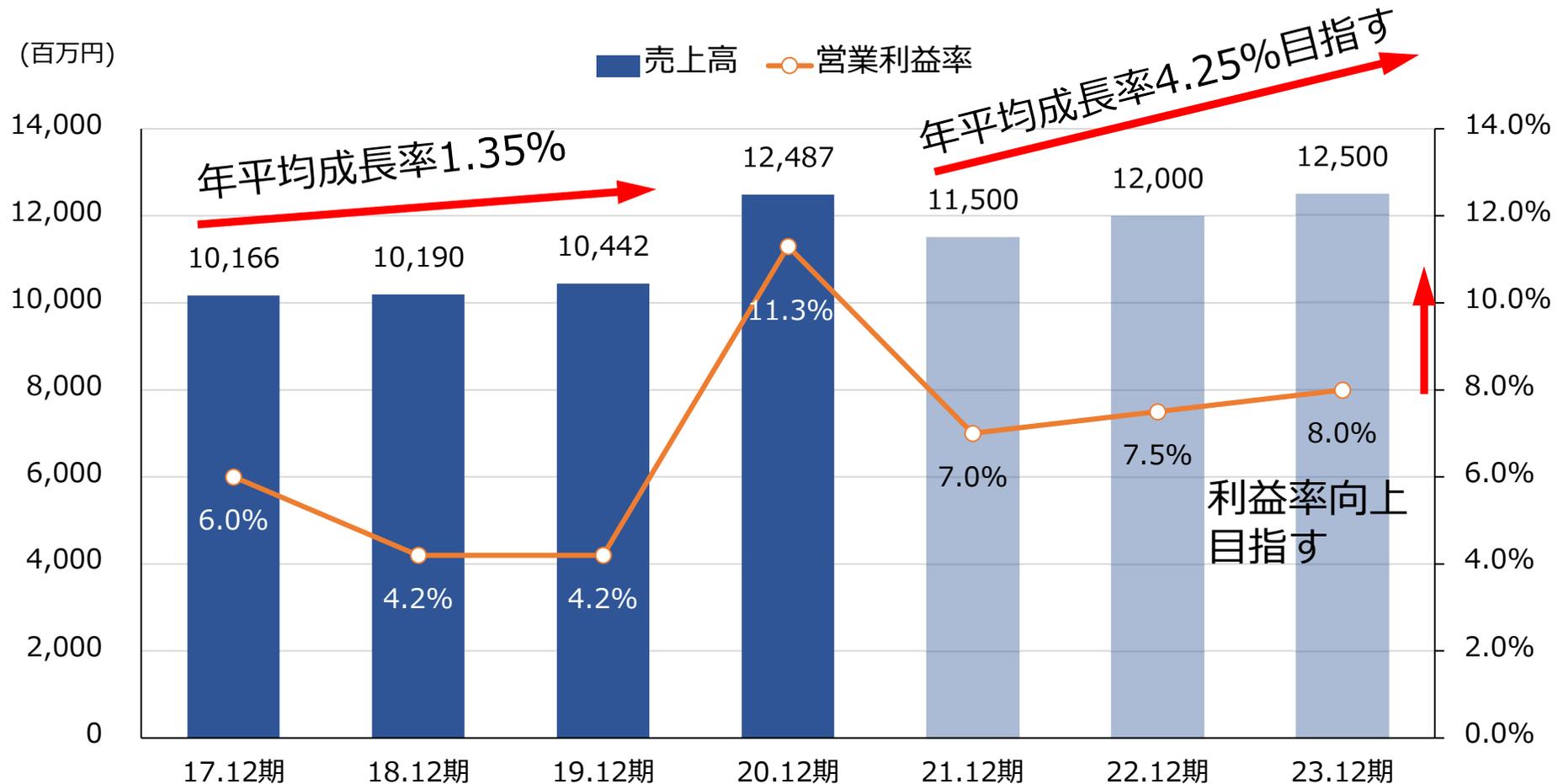
### 経営理念

- 1. 株式会社本来の目的を達成する。  
(従業員、株主、関連会社、社会貢献)**
- 2. 顧客の要求に合った製品開発を行う。**
- 3. 技術の進歩は実験・研究を主とする経験から。**
- 4. 人材の育成は創造、継続、忍耐を重点とする。**

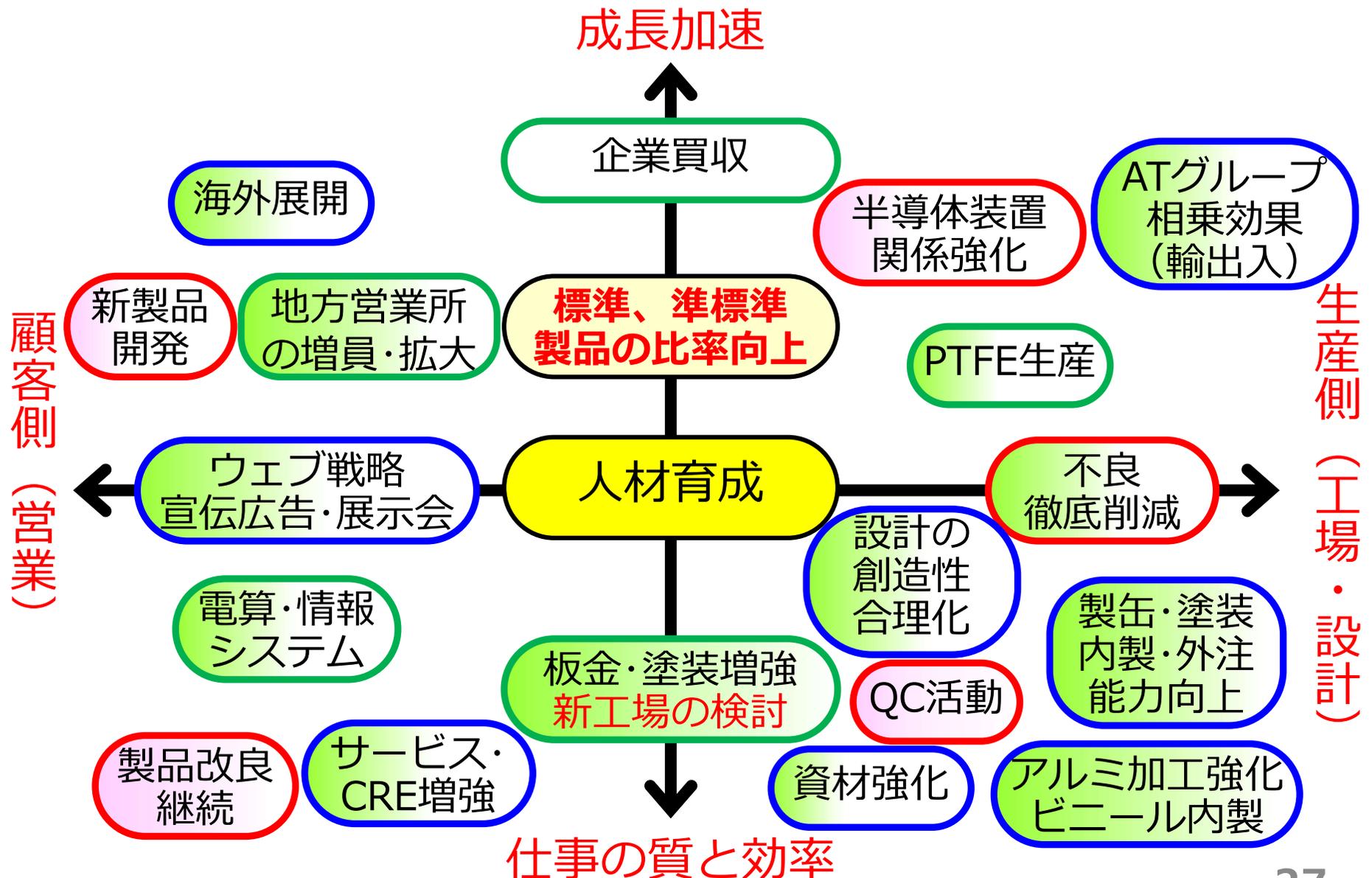
## 4.2 売上高・営業利益率推移と今後の目標値

### 2021年以降の成長戦略

1. 継続成長が見込まれる半導体を主とした電子工業分野需要の取り込み
2. CO<sub>2</sub>削減の実現を目指す為のEV、FCV等の投資、設備省エネルギー(切替)需要
3. 納品後のフィルター交換需要、定期検査需要の取り込み (安定的需要に期待)



## 4.2. 2017年策定の当社5カ年計画 取組み事項



## 4.3 中期計画（2017-2022）の策定条件

- 1) 半導体産業の拡大は確実に見込まれるため、当社市場（顧客）シェアアップに努める（開発力）。
- 2) 基本は独立独歩の成長を目指す、良い企業があれば企業合併も検討する。
- 3) 働き方改革・品質向上・原価低減への対応の為に、社内システム一式の見直しを進める。
- 4) 営業販売網（代理店約1000ヶ所）へきめ細かく対応するために、営業部員の増員を図る。
- 5) 売上拡大に伴い、工場、サービスセンターの拡大を図る。
- 6) 医療機関への感染症対応機器需要に確実に対応する。（20年追加）
- 7) 交換需要の増加が見込まれるフィルター事業を拡大する。（20年追加）

## 4.4 SDGsと当社社是、社業との関係

当社は、本業（クリーンエアーシステムの設計、製造、販売）を通じて、環境側面・社会側面の双方から、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

各種産業・研究機関の顧客を通じて社会の安全、快適な暮らし、そして健康に直結する製品を多く有しており、急速な技術進歩が進む中で、それらの技術（顧客）を縁の下で支える企業として製品開発に尽力し、日本そして世界へ貢献していく所存です。



## 4.4.1 増資で得た資金をSDGsの5つの目標に通じた効果へ

増資資金（9.6億円）は、

「越谷新工場」建築、「本社増築（ショールーム）」

「研究開発」～ 省エネルギー、感染症対策・食品関連製品開発  
に投じ、以下の達成を目指します。

（21年3月末に報告書を当社HPに開示予定）

1. **省エネルギー（CO<sub>2</sub>削減）** ～①自社内 18.1～79.5 (t-CO<sub>2</sub>)  
～②各顧客の製造プロセスの省エネに、製品を通じて貢献
2. **増産・販売強化により衛生（食品）、医療、福祉インフラへ貢献**  
～ACPを年間6000台迄増産可能  
～HACCP導入企業へのAS、AC等を納品し食品衛生向上に貢献
3. **製品開発促進** ～本年該当研究開発内容は以下13件  
省エネルギー ～高級ベンチ、C20、バグキーパー、シミュレーション  
感染症・食品関連 ～エアーカーテン、PCR、BSCAP、PEU、排気MAC、  
運転席用空気清浄機、TIB、陽陰圧トンネル、薬液噴霧付き空気清浄機

## 4.4.2 サステナブルファイナンス概要報告

(詳細レポートは2021年3月末に当社HPに公開予定)

### 【充当した資金の総額及び使途】

(注)「実績」※は2021年1月時点(単位：百万円)

項目	想定	実績 (注)	想定との差額
資金調達額	975	<b>967</b>	▲8
資金充当額	i) 新工場※	<b>536※</b>	▲39
	ii) ショールーム等※	<b>320※</b>	25
	iii) 研究開発	<b>75</b>	▲30
	計	975	<b>931</b>
未充当金額	0	<b>36</b>	—

### 【環境側面での改善インパクト】

「新工場」「ショールーム等」は、稼働開始直後のため現時点では評価対象外としています。「研究開発」では、省エネルギー技術で3製品を上市し、年間で45.5[t-CO2]に相当する温室効果ガス削減量が見込んでいます。

### 【社会側面での改善インパクト】

感染症対策製品については新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴う医療分野等からのニーズに応えるべく、新製品7機種、増産対応の為の改良10機種の開発を行い大きなインパクトを創出出来ました。主要な製品は以下の通りです。

#### 感染症対策分野の販売実績

製品名	製品導入の目的	販売台数実績
クリーンパーティション	病院内の空気清浄(想定6千台増産可)	6千台以上、昨年比25倍
陰圧ユニット、陰圧ブース	陰圧病床	3千台以上
安全キャビネット	PCR検査用	5百台以上

# 将来見通し等について

## • 将来見通し

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待、見積、予想に基づいています。これらの期待、見積、予想は、新型コロナウイルス感染症の国内外の感染拡大状況、経済情勢・市況の変化、競争環境の変化、顧客のある国の政策変化、係争中及び将来の訴訟の結果など多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる結果となる可能性があります。

従って、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。従いまして、本資料の内容につきましても、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承ください。また、当社は新しい情報、将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

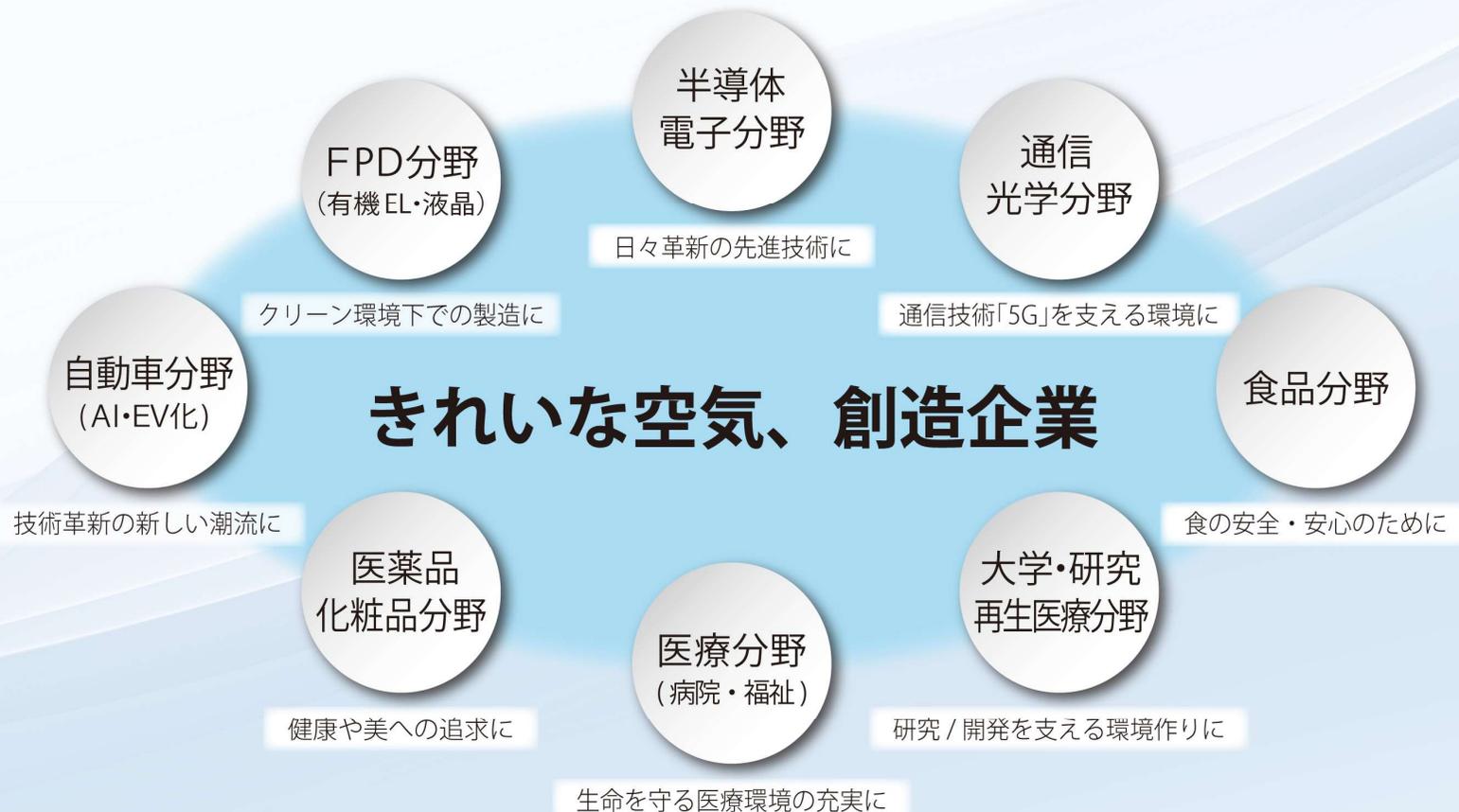
## • 数字の処理

記載された金額は、単位未満を切り捨て処理、比率は単位金額で処理した結果を四捨五入している為、内訳と一致しない場合があります。

# AIRTECH

Clean Air Innovation

さまざまな分野のあらゆるシーンで求められる  
クリーンな空気環境にお応えします。



# AIRTECH

Clean Air Innovation

作成日 2021/2/12

日本エアーテック株式会社

TEL 03-3872-6611/FAX 03-3872-6615